

福島復興本社における
賠償・除染・復興推進に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

○ 原子力損害賠償の進捗状況	_____	1	～	3
○ 除染等推進活動状況	_____	4	～	6
○ 復興推進活動状況	_____	7	～	9

原子力損害賠償の進捗状況について

<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

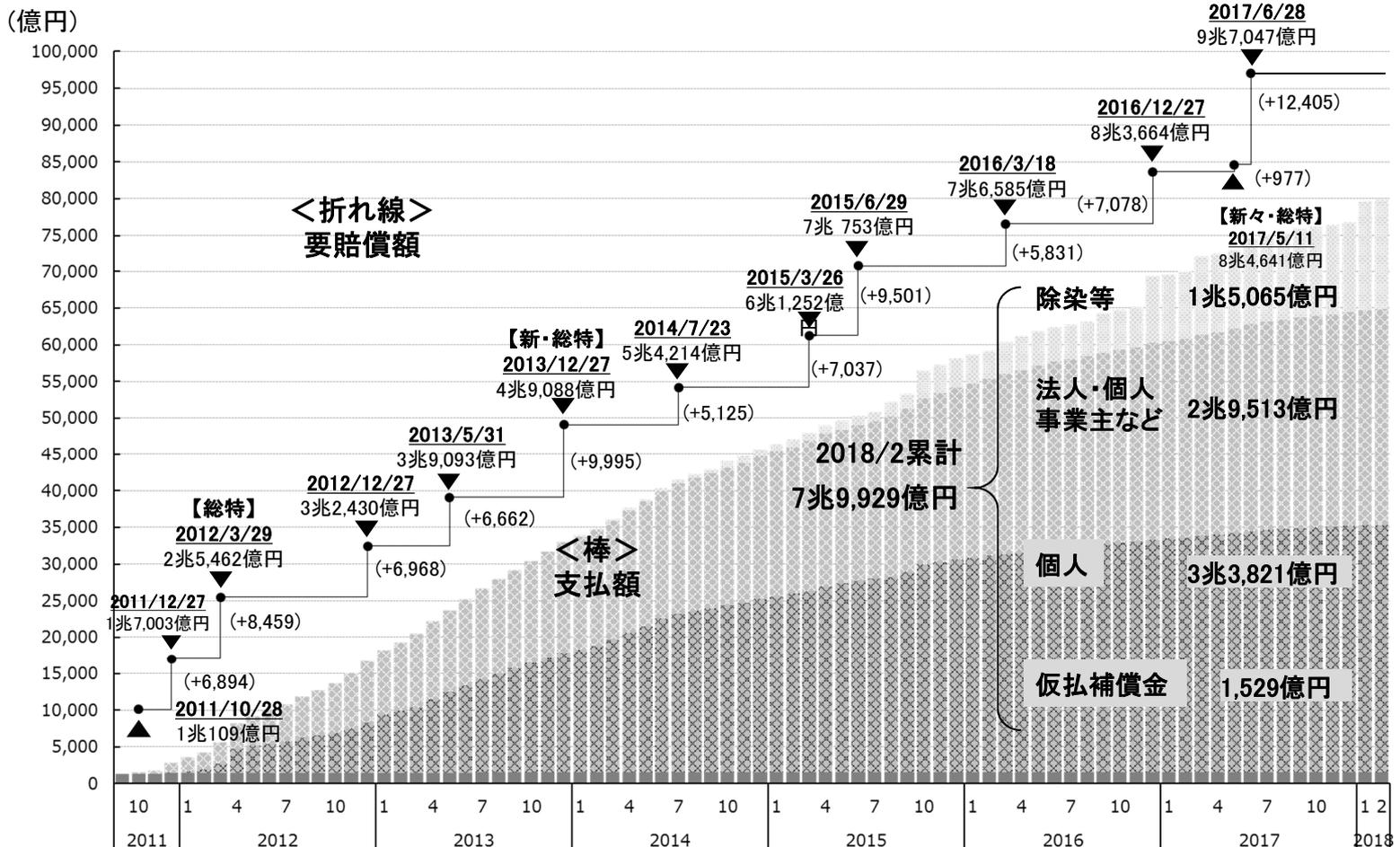
2018年3月16日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,358,000件	約474,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,240,000件	約408,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆3,863億円	約4兆4,710億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2		約7兆8,573億円 ①
仮払補償金		約1,529億円 ②
お支払い総額		約8兆0,101億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

<賠償支払額及び要賠償額の推移>



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額【新々・総特】<A> (7/26変更認定)	合意いただけの実績 ^{※1} (2018年2月末現在)
I. 個人の方に係る項目	21,453億円	19,600億円
検査費用等	3,374億円	2,632億円
精神的損害	11,513億円	10,731億円
自主的避難等	3,681億円	3,626億円
就労不能損害	2,883億円	2,609億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	28,778億円	27,889億円
営業損害	5,051億円	5,065億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	17,220億円	17,058億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,206億円	2,264億円
間接損害等その他	3,299億円	3,501億円
III. 共通・その他	18,408億円	17,372億円
財物価値の喪失又は減少等	13,559億円	13,557億円
住居確保損害	4,598億円	3,565億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等^{※2}	28,406億円	15,065億円
合計	97,047億円	79,928億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 82%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅・一時立入費用 ・生命・身体的損害 等	9月:法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害 等
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の 賠償のお取り扱い 4月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の 賠償のお取り扱い	

<ADRの対応状況>

2018年3月16日現在

申立件数		23,502件
解決件数	全部和解件数	17,792件
	取下げ件数	2,260件
	打切り件数	1,711件
	却下	1件
現在進行中の件数		1,738件

出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは23,379件(3月16日現在)

※当社に送達された件数は月平均で約138件(平成29年度)

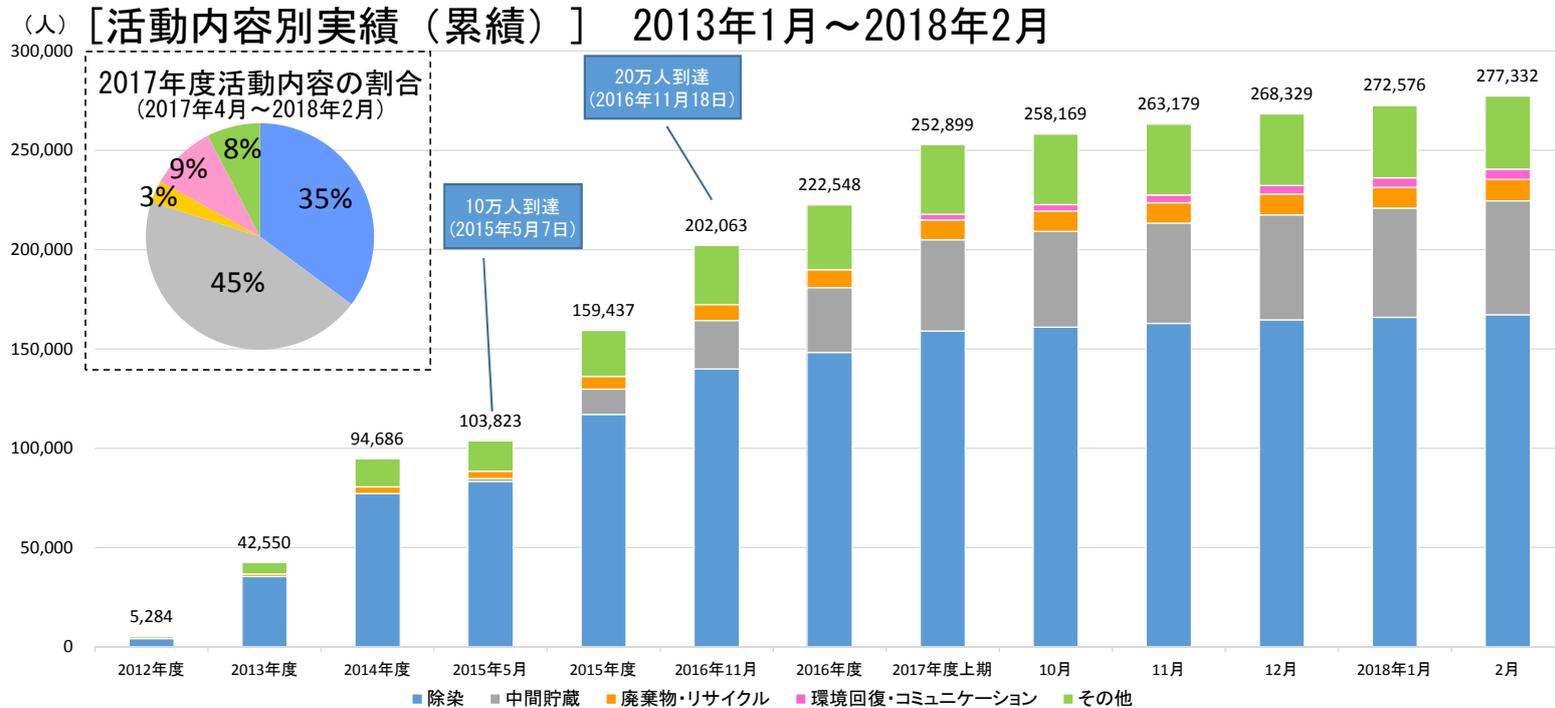
※現在進行中の件数のうち、105件は一部和解が成立している

※和解金額は約2,948億円

2月の活動実績

除染	中間貯蔵	廃棄物・リサイクル	環境回復・コミュニケーション	その他
				
1,369人 (30%)	2,386人 (50%)	123人 (2%)	482人 (10%)	396人 (8%)
2月の活動実績合計				4,756人
復興本社設立（2013年1月）からの累計				277,332人

[活動内容別実績（累計）] 2013年1月～2018年2月



至近の主な取り組み

川俣町山木屋地区

富岡町

棚倉町

除染後のモニタリングへの対応

原乳の出荷制限解除に向けたモニタリングへの対応

イノシシ生息状況調査方法の実証試験への対応

イノシシ生息状況調査方法の実証試験への対応

実施時期	2018年3月6日～ ※継続中
実施場所	富岡町
実施人数	社員 延べ8人(2018年3月13日現在)
実施内容	富岡町と協働で、住民の生活環境に影響を与えているイノシシの生息状況(生息域・頭数)の調査方法について実証試験を実施。調査方法は赤外線カメラを搭載したドローンにて夜間撮影を行い、イノシシの生息状況を確認。 ※調査範囲 約30ha
調査結果	今回の調査エリアにおいて、イノシシ約20頭の生息を確認(詳細は解析中)



※夜間調査時間: 17:30~23:00



- 調査の結果、水田エリアにおいてはイノシシの活動状況について、比較的容易に把握することができる一方、森林エリアにおいては、イノシシかどうかを特定するために、画像解析など判断技術が必要であることが確認できた。
- 今後は、今回の調査結果を踏まえ、より正確な画像解析技術を検討するとともに、取得データの有効な活用方法についても検討を進めていく予定。(次回調査については、富岡町と調整しながら実施)

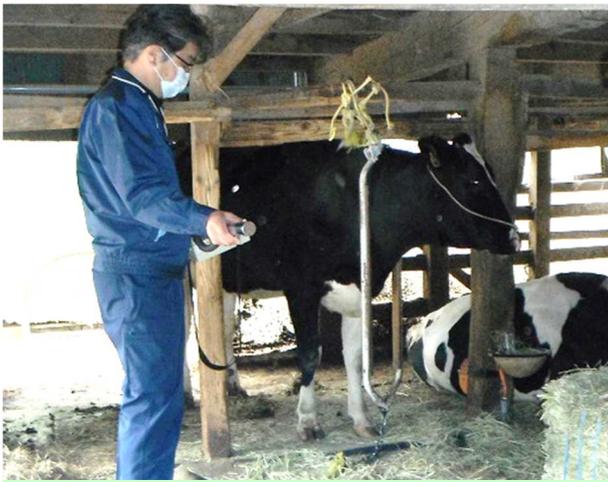
原乳の出荷制限解除に向けたモニタリングへの対応

実施時期 2017年3月～ ※継続中

実施場所 川俣町山木屋地区

実施人数 社員 延べ120人

実施内容 福島県県北農林事務所からの要請により、川俣町山木屋地区での酪農再開に向けた飼養実証事業において、牛舎等の放射線量や飼料等の放射能濃度の測定協力を実施。2018年3月20日に飼養実証事業が終了し、酪農経営が再開。
 (飼養実証事業の結果を踏まえて、2018年3月16日原乳の出荷制限解除、3月20日原乳出荷の再開。)



牛舎内のモニタリング状況



飼料のサンプル採取状況

除染後のモニタリングへの対応

実施時期 2017年11月27日～ ※継続中

実施場所 棚倉町

実施人数 社員 延べ56人 (2018年3月9日現在)

実施内容 棚倉町からの要請により、住宅・事務所・公共施設等(120軒)において、除染後のモニタリングへの対応。



モニタリングの状況 (公園)



モニタリングの状況 (集会所)

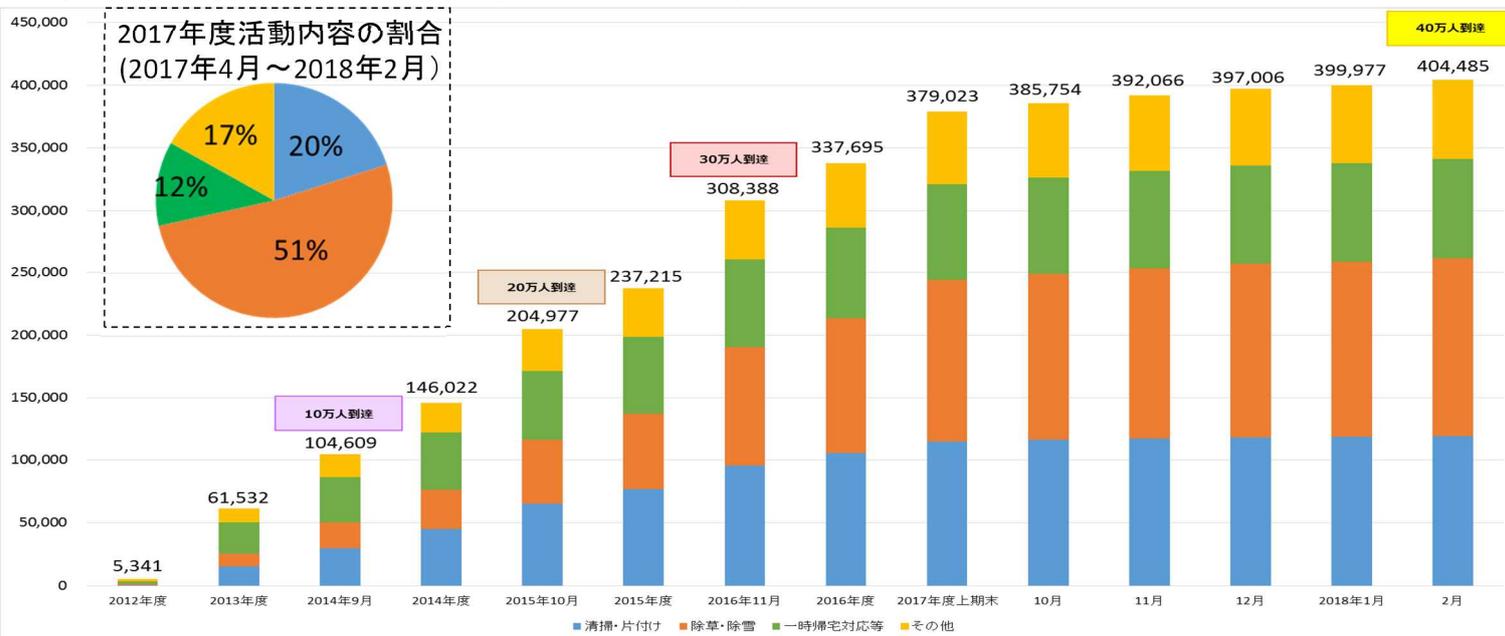


モニタリングの状況 (公共施設)

2月の活動実績

清掃・片付け (屋内清掃・大型家財搬出等)	除草・除雪 (町道・住宅進入路・公共施設等)	一時帰宅対応等	その他 (イベント運営補助・介護研修会等)
			
691人 (15%)	1,909人 (42%)	605人 (14%)	1,303人 (29%)
2月の活動実績合計			4,508人
復興本社設立 (2013年1月) からの累計			404,485人

[活動内容別実績 (累積)] 2013年1月～2018年2月



至近の主な取り組み



大熊町立大野小学校
「思い出の品持ち出し」への協力



南相馬市災害復旧復興ボランティア
「感謝のつどい」への協力

南相馬市災害復旧復興ボランティア「感謝のつどい」への協力

実施時期 【感謝のつどい】 2018年2月25日

実施場所 南相馬市

実施人数 社員 3人

実施内容 南相馬市災害復旧復興ボランティアセンターの閉所にあたり開催された「感謝のつどい」において、駐車場での車両誘導に協力

<これまでの活動実績>

- ・ 2013年4月に「南相馬市災害復旧復興ボランティアセンター」が南相馬市小高区に拠点を移して以降、同所にて受付の除草、屋内片付け等の活動に当社より延べ56,822人が協力。
- ・ 今後、南相馬市小高区における復興推進活動は、地域の方々から直接受付を行い実施。

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度 (2月末)
協力延べ人数	5,426	10,739	14,724	17,373	8,560

<感謝のつどいの様子>



駐車場での車両誘導の様子 [2018年2月25日撮影]



式典の様子 [2018年2月25日撮影]



写真展示場の様子 [2018年2月25日撮影]



交流会の様子 [2018年2月25日撮影]

大熊町立大野小学校 「思い出の品持ち出し」への協力

実施時期	【事前測定・清掃・会場設営】2018年2月15日、22日 【持ち出し】2018年3月2日～4日
実施場所	大熊町
実施人数	社員 延べ17人
実施内容	大熊町立大野小学校での「思い出の品持ち出し」にあたり、教室等の事前放射線量測定、清掃、会場設営ならびに持ち出し品の放射線量測定を実施。

<活動の様子>



事前放射線量測定の様子 [2018年2月15日撮影]



校内清掃の様子 [2018年2月22日撮影]



清掃・設営前の様子 [2018年2月22日撮影]



引き取り会場設営後の様子 [2018年2月22日撮影]



持ち出し品引き取りの様子 [2018年3月2日撮影]



持ち出し品放射線量測定の様子 [2018年3月4日撮影]